

2022 6/14

No.2164

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



JR東海は5月30日、橋本駅（相模原市緑区）前の地下30メートルに建設しているリニア中央新幹線「神奈川県駅（仮称）」の工事現場を初めて報道陣に公開した。



contents

視点点描	3
頑張る中小、今後も応援	

経 済	4
自治体の力量問われるDX推進 ポイントは「価値観の転換」	

経 済	6
コロナ禍の新入社員研修事情 オンライン、それとも対面？	

経済双眼鏡	9
新しい資本主義の空虚 参院選対策を優先か	

企業最前線	10
キャンプブーム、光る商品開発力 専用焼酎、火花に強いウエア…続々	

風人來人	12
忘れられる権利 司法はどう判断	

政経ニュース	13
日本初の高層純木造ビル見学 -2022年5月定例会- 脱炭素と街づくり	

かながわTODAY	14
5月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2022年7月の講演会

7月22日(金) 午前10時30分～12時

横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ「日輪」

講師：横浜市長 山中 竹春氏

演題：未定

※定例講演会は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって中止・延期する場合があります。

【新規会員】(8日現在)

・第一生命保険株式会社(22年6月)

【お知らせ】 神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045-(226) 2121。

視点 点描



頑張る中小、今後も応援

経済部の記者にとって1年で最も忙しい、県内上場企業の3月期決算発表集中期が終わった。

3月が決算期の県内上場企業のうち、5月23日までに発表した118社（1社で全社分の売り上げ規模となる日産自動車を除く）の決算を神奈川新聞社が集計したところ、純利益合計は4期ぶり増加。企業業績は前期（21年3月期）に

底を打ち、回復傾向にある。

売上高の合計は前期比7・0%増。営業利益は51・9%増、純利益は81・4%増と大幅に伸びた。売上高は7割強に当たる85社、営業利益は79社、純利益は83社で増加。新型コロナウイルス禍による業績の下押し圧力が相対的に弱まった結果、幅広い業種で収支の改善が進み、黒字転換が相次いだ。

業績の回復傾向は、アフターコロナを見据えた新卒採用の動向にも表れている。

神奈川新聞社が今春、県内に本社機能を置く売上高1千億円以上の上場企業30社を対象に実施したアンケートで、23年春の新卒採用を「増やす」と答えた企業は22社と7割超を占めた。

一方で、ウクライナ侵攻、原油や原材料価格の高騰、円安など下振れリスクの懸念は強い。

神奈川産業振興センターが実施した県内中小企業の景気動向調査によると、4～6月期の「業況判断DI」見通しは、全産業ベースでマイナス43・4。業績が回復基調で採用拡大に動く大企業に対し、中小企業の大多数は先行きを不安視しているのが実態だろう。

経済部では、そうした状況を乗り越えようと新商品・新技術の開発、新事業の創出、業態転換など

に取り組む中小企業をできるだけ多く紙面で取り上げ、応援したいと考えている。

県内企業の情報が一番詳しい、経営に役立つ紙面を目指し、現在、取材先企業の新規開拓を強化している。神奈川政経懇話会の皆さまからの情報提供も大歓迎（経済部のメールアドレスは、keizai@kanagawa-np.co.jp）。「プレスリリースの書き方が分からない」というときは、同懇話会の事務局に相談を。

また、県内の銀行や信用金庫、県・市の信用保証協会、商工会議所などの経済団体、各地の産業振興財団など企業支援機関の多くは経済部とパイプがあるので「神奈川新聞とつないでほしい」と相談すれば支援してくれるはず。ぜひ地元紙の紙面を活用してほしい。

（神奈川新聞社経済部長

吉田 勝行）